



士別翔雲高校だより

学校通信 第184号 令和8年 8月31日(月) 発行 校訓「一步前へ」

令和8年度翔雲祭 優勝は緑雲！

今年度は「大航海～雲の上まで翔け抜けろ～」をテーマに掲げ、7月2日(木)からの3日間、情熱あふれる学校祭を開催しました。

初日の前夜祭では、各雲隊が制作した6基の行灯が夜の市内を練り歩き、沿道からの温かい声援を受けました。最後には夜空に大輪の花火が打ち上がって最高の出航(スタート)となりました。

続く1日目は、吹奏楽局による演奏や1・2年生の工夫あふれるクラス発表が行われました。生徒会企画の抽選会では、会場全体が熱狂に包まれました。

一般公開日の2日目は朝から多くの来場者で賑わい、趣向を凝らしたクラスパビリオンには長い行列ができ、屋外のキッチンカーも大盛況となりました。午後からの3年生によるステージ発表では、まさにテーマ通り翔け抜けるような、高校生活3年間の集大成にふさわしいパフォーマンスが披露されました。



ゴールバーン・マルワリー市より留学生をお迎えしました

7月10日(金)から7月17日(金)にかけて、士別市の姉妹都市であるオーストラリアのゴールバーン・マルワリー市から留学生が来校し、本校生徒との温かい交流のひとときを過ごしました。

滞在中は本校の授業に参加するなど、学校生活を通して日本の日常に親んでももらいました。また、留学生によるゴールバーン・マルワリー市の紹介プレゼンテーションも行われ、生徒たちは現地の文化や暮らしについて学び、異文化への理解を深める貴重な機会となりました。

受け入れにあたっては、本校の国際局の生徒たちが中心となって、滞在中のサポートを英語で行いました。日頃の学習成果を活かした積極的なコミュニケーションをとっていました。



高大連携事業 ～名寄市立大学見学ツアー～

7月28日(火)、名寄市立大学との高大連携事業の一環として「名寄市立大学見学ツアー」を行いました。

実習室の見学や学食での昼食、授業の体験・見学のほか、在学生との懇談を実施し、生徒たちは大学生活の雰囲気をも具体的に体感することができました。

見学した生徒からは、「専門的な知識をもとに学生それぞれが意見を持っていて、様々な可能性を検討していてすごい」といった声が聞かれ、進学に向けた意識や学習意欲を高める貴重な機会となりました。

孔子・老子から人生のヒントをもらう

名寄市立大学保健福祉学部看護学科 准教授 岡田 郁子 氏

はじめまして。看護学科で基礎看護学という看護を学びはじめるときの科目を教えています。

今回「座右の銘」といわれ迷いましたが、私が人生の岐路にたったとき大事にしてきた言葉を書きたいと思います。どんな年齢になっても迷いは生じ、指し示してくれるものが必要となります。本は私が知らない先人が見出してくれた知識や価値観を教えてくれるので、周囲の人にも相談しますが本にも頼り、そこから自分なりに考えてみたりしています。20代後半で将来どんな自分になっていたいか考えたとき、以前から興味があった孔子の論語を読んでみました。私の心にとまった言葉が「四十にして惑わず」で、意味は四十歳になり自分の学問に自信ができ生き方に迷わなくなることでした。その言葉で自分は40歳代になったときどのような人でいたいだろうかと考え、ただがむしゃらに歩むより、一つひとつの経験を大事に自分を磨いていきたいと思いました。看護するなかで、辛い患者さんが私に本心を語ってくれるような関わり方をどのように行えばいいのか悩みカウンセリングを学び、実践してみて、最初からうまくはできないので次はどうしたらよいか何度も振り返りました。実施することで本に書かれている意味がわかり、患者さんの反応も変わっていったとき、嬉しくて少しだけ自信を持つことができました。また、看護では患者さんに病気のためこれまでとは違う食生活や自分で注射をする方法などを教え実施してもらう必要があります。どのように受け入れてもらうか悩んだとき、教育学からはじめ教育方法など色々な理論を学んでみました。自分の未熟さを患者さんに教えられながら、少しは納得のいく支援をできるようになっていきました。病院から教育現場へ変わり、いつしか思い描いていた年齢も超えましたが、今も学生さんの姿に刺激を受けながら努力しています。

最近また人生の岐路にたつことがあり、父が読んでいた老子を読み、看護や教育にも通じるある一節が心にとまり、それをもとに楽しみながら歩んでいます。

看護は、一人ひとりの患者さんを知り、根拠をもとに実践することで、病気になってもその人らしく生きていくサポートができるため、とてもやりがいのある仕事です。それには専門的な知識や技術が必要です。本学ではそれを看護学科の教員が一人ひとりの学生さんの個性を大事に関わり支援しています。将来の看護や社会を見据え、一緒に本学で学んでみませんか？

名寄市立大学との高大連携事業の一環としてコラムの連載をしています

令和6年9月、名寄市立大学と高大連携事業に関する協定を締結しました。「士別翔雲高校だより」の中では、高校生に向けたコラムの連載をしています。他にも大学模擬授業・学内見学ツアーや総合的な探究の時間への支援など、さまざまな活動に取り組んでいます。

この通信は阿部新聞店様、道新平中販売所様、鈴木販売所様のご厚意により、地域の皆様に無料にて配布させていただいております。
〈発行者〉北海道士別翔雲高等学校 担当：総務部 〈電話〉0165-23-2914 〈FAX〉0165-23-2911
〈ホームページ〉<http://www.s-shoun.hokkaido-c.ed.jp/> 〈E-mail〉s-shoun@hokkaido-c.ed.jp

※上記のホームページ(もしくは右記のQRコード)でカラー版をご覧ください。



士別翔雲高校ウエイトリフティング部・国際局・新聞局 全国大会出場！

全国商業高等学校英語スピーチコンテスト北海道予選大会で大活躍！

6月18日（木）・19日（金）の2日間、札幌市教育文化会館にて第43回全国商業高等学校英語スピーチコンテスト北海道予選大会が開催されました。本校からは4名の生徒が出場し、日頃の練習の成果を発揮した結果、出場者4名中3名が入賞するという見事な成績を収めました。

自ら作成した原稿で挑む「スピーチの部」では、3年生の庄司明玲さんが優勝を果たしました。昨年の全国大会レシテーション部門優勝に続き、今年はスピーチ部門で北海道の頂点に立ちました。また、用意された課題文を暗唱する「レシテーションの部」では、1年生の櫻田奈々さんが第5位、同じく1年生の樫原陸さんが佳良賞（入賞（6位以内）には至らなかったものの、審査員から特に優れた発表と認められた生徒に贈られる賞）を獲得し、1年生2名も大舞台上で堂々とした発表を見せてくれました。

全国大会へ出場できるのは各部門の優勝者のみとなっており、優勝に輝いた庄司さんが北海道代表として、9月に東京で開催される全国大会に出場します。

全道大会に引き続き、全国大会でも今までの努力を存分に発揮し、2連覇を達成します！
3年A組 庄司明玲



新聞局が全国高等学校総合文化祭で「優良賞」を受賞！

7月28日（火）から30日（木）までの3日間、秋田県潟上市の潟上市市民センターかたりあんを会場に開催された第50回全国高等学校総合文化祭（あきた総文 2026）新聞部門に、本校新聞局が参加しました。

全国から各都道府県の代表校が集うこの大会で、本校新聞局は見事優良賞を受賞しました。

大会期間中、局員たちは地域の歴史や文化を体感する研修取材に臨むとともに、全国から集まった他校の新聞部員たちと協力して「交流新聞」の制作に取り組みました。慣れない土地での取材や他校生との紙面作りを通じて、日頃の活動で培った取材力や編集スキルを存分に発揮し、大きな成長が見られた実りある3日間となりました。



ウエイトリフティング部が全国高校総体に出場！

7月31日（金）から8月3日（月）に滋賀県高島市安曇川高校にて開催された令和8年度全国高等学校総合体育大会ウエイトリフティング競技大会に、本校ウエイトリフティング部が出場いたしました。

全国の各地区を勝ち抜いた強豪たちが集う最高峰の舞台において、選手たちは日頃の厳しい練習で培った成果を胸に、果敢に挑みました。全国大会独特の緊張感が漂う会場の中で、一挙一動に全力を注ぎ、堂々とバーベルを持ち上げる姿は大変立派なものでした。

目標としていた結果には惜しくも届きませんでしたが、全国の強豪たちと競い合ったこの大舞台での経験は、選手たちにとって大きな成長の一歩であり、今後の糧となるかけがえのない財産となったはずです。



全国高校野球選手権

6月28日（日）、第108回全国高等学校野球選手権大会北北海道大会2回戦が行われ枝幸・天塩・豊富高校の連合チームに勝利しました。

続く7月7日（火）の3回戦では全校応援が行われ、炎天下の中、吹奏楽局の演奏と全校生徒の声援が球場に響きました。網走南ヶ丘高校に2-1で勝利しました。

12日（日）の4回戦では帯広三条高校と対戦し、多くの市民の皆様に駆けつけていただき、地域を挙げた熱い応援をいただきました。温かいご声援、誠にありがとうございました。結果は惜しくも敗退となりましたが、選手たちは最後まで全力で戦い、素晴らしい試合を見せてくれました。



【9月行事予定】

- 1日（火）前期期末考査（～9/4）
- 4日（金）3年大学入学共通テスト説明会、生徒会選挙公示
- 5日（土）就職応募書類提出開始
- 7日（月）教育実習（～9/30）、3年秋期講習（～12/11）
身だしなみ指導・いじめアンケート④
- 9日（水）総ビ科（2年）インターンシップ（～11日）
- 11日（金）図書館バス、3年模試前日実施
- 12日（土）当番校業務（新人戦弓道）①
3年ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試①
- 13日（日）当番校業務（新人戦弓道）②、3年小論文模試③
- 14日（月）公開授業週間（～9/18）、1年出前授業
生徒会選挙告示
- 15日（火）授業料・諸納金口座振替日
- 16日（水）就職選考開始、下川連携（総ビ科1年）
- 17日（木）生徒会選挙
- 18日（金）参観日
- 19日（土）中学生体験入学（部活動体験）
- 20日（日）あさひかわ食べマルシェ（総ビ科2年）
- 21日（月）敬老の日
- 22日（火）国民の休日
- 23日（水）秋分の日
- 24日（木）HR役員選出（後期）
- 25日（金）生徒会役員認証式（5短）
- 26日（土）3年全統記述模試③
- 27日（日）3年看予備模試④、2年公務員模試①、全商情報処理検定①
- 29日（火）前期終業式、特別清掃週間①（～10/2）
- 30日（水）体育祭、ニュージーランド留学生受入（～10/7）

【10月行事予定】

- 1日（木）後期始業式
- 2日（金）1・2年スタディサポート②、進路マップ②、進路希望調査②
- 3日（土）土曜授業、中学生体験入学、英検②一次
- 10日（土）3年ベネッセ・駿台記述模試②
- 12日（月）スポーツの日
- 14日（水）避難訓練②
- 15日（木）授業料・諸納金口座振替日、身だしなみ指導・いじめアンケート⑤
- 16日（金）防災点検、図書館バス
- 17日（土）3年全統共通テスト模試③（名寄高校と合同）
- 19日（月）開校記念日
- 20日（火）2年ピアサポート
- 23日（金）2年見学旅行結団式、3年模試前日実施
- 24日（土）3年ベネッセ・駿台大学入学共通テスト模試③
- 25日（日）2年見学旅行（～10/28）
- 29日（木）1年職業学問発見フェア、3年模試前日実施、2年振替休業日
- 31日（土）3年大学入学共通テスト直前予想問題白パック

～お知らせ～

9月18日（金）

授業参観を開催します。

事前の申込みはこちらからお願いいたします。→

10月3日（土）

中学生体験入学を開催します。

中学校を通してご案内しています。

お忙しい折とは存じますが、ぜひお気軽にご参加ください。

